

脳神経外科が 「脳卒中・循環器病 ICT 医療連携研究部門」を設置 ～医療の DX を加速する～

【概要】

北海道大学病院脳神経外科（藤村幹 教授）は、令和4年6月1日、新たに寄附講座「脳卒中・循環器病 ICT 医療連携研究部門」を設置しました（寄附者：株式会社アルム）。

【寄附講座設置に至った経緯】

平成30年に制定された「健康寿命の延伸などを図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」により、今後、脳卒中および循環器病における医療連携の更なる成熟が重要視されることが予想されます。また、昨今のデジタルツールの進歩により、ICTを用いることで医療連携を円滑に行うことができると期待されています。しかしながら北海道大学病院には、実際の医療現場に拠点を置く医療のデジタル化のための研究部門が存在しません。そこでこの度、北海道大学病院脳神経外科は、北海道内の関連脳卒中センターと広くデジタル化された医療連携の構築に取り組むため、実際の医療現場に拠点を置いたICT医療連携研究部門を寄附研究部門として設立することとなりました。

【主な活動内容】

1. 北海道の広域遠隔医療ネットワークの構築
2. Tele-SCU*¹の実証実験
3. 遠隔手術支援の実施
4. 病院前情報連携
5. 遠隔 AI 診断システムの構築

【設置期間】

令和4年6月1日～令和6年5月30日

お問い合わせ先

北海道大学病院脳神経外科教授 藤村 幹（ふじむら みき）

北海道大学病院脳神経外科 長内 俊也（おさない としや）

T E L 011-706-5987 F A X 011-708-7737 メール osanait@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp

【用語解説】

- * 1 Tele-SCU・・・複数医療機関の脳卒中ケアユニット（SCU）内の患者情報を ICT ネットワークで繋ぎ、遠隔で専門医が現場医師の診療をサポートする実験的システム